

直接原価計算編

1 @4点×5=20点

問1	13,500,000 円
問2	20,000,000 円
問3	9,000 個
問4	13,500 個
問5	500,000 円

問1

$$\begin{array}{rcl}
 \text{売} & @4,000 \text{ 円} & \times 7,500 \text{ コ} = 30,000,000 \text{ 円 (1)} \\
 \text{変} & @2,200 \text{ 円} & \times 7,500 \text{ コ} = 16,500,000 \text{ 円 (2)} \\
 \text{貢利} & @1,800 \text{ 円} & \times 7,500 \text{ コ} = 13,500,000 \text{ 円} \cdots \text{問1}
 \end{array}$$

(1) 売上高より

(2) 変動売上原価 15,000,000 円 + 変動販売費 1,500,000 円

→ (1) - (2) = 13,500,000 円…問1

問2

$$\begin{array}{rcl}
 & \text{売} & \\
 & \text{変} & \\
 0.45 \text{ (1)} & \text{貢利} & 9,000,000 \text{ 円 (4)} \\
 & \text{固} & 9,000,000 \text{ 円 (3)} \\
 & \text{営利} & 0 \text{ 円 (2)}
 \end{array}$$

(1) 問1のワークシートより, @1,800 円 ÷ @4,000 円 (13,500,000 円 ÷ 30,000,000 円)

(2) 損益分岐点 (営業利益 0 円) なので, 0 円

(3) 固定製造原価 6,400,000 円 + 固定販売費・一般管理費 2,600,000 円

→ (営業利益 0 円 + 固定費 9,000,000 円) ÷ 貢献利益率: 0.45 = 20,000,000 円…問2

問3

$$\begin{array}{rcl}
 & \text{売} & @4,000 & \times & & \text{コ} = & 36,000,000 \text{ 円 (4)} \\
 & \text{変} & @2,200 & \times & & \text{コ} = & \\
 0.45 & \text{貢利} & @1,800 & \times & & \text{コ} = & 16,200,000 \text{ 円 (3)} \\
 & \text{固} & & & & & 9,000,000 \text{ 円 (3)} \\
 & \text{営利} & & & & & 7,200,000 \text{ 円 (2)}
 \end{array}$$

(1) 問1のワークシートより, @1,800 円 ÷ @4,000 円 (13,500,000 円 ÷ 30,000,000 円)

(2) 目標営業利益 7,200,000 円なので, 7,200,000 円

(3) 7,200,000 円 + 9,000,000 円

(4) (3) ÷ 0.45 または、(営業利益 7,200,000 円 + 固定費 9,000,000 円) ÷ 貢献利益率: 0.45 = 36,000,000 円

→ (4) ÷ @4,000 円 = 9,000 個…問 3

問 4

	売	@3,200 (1)	×	コ =	43,200,000 円 (8)
	変	@2,200 (2)	×	コ =	
0.3125 (4)	貢利	@1,000 (3)	×	コ =	13,500,000 円 (7)
	固				9,000,000 円 (6)
	営利				4,500,000 円 (5)

(1) @4,000 円 × (1-0.2)

(2) 問 1~問 3 と変化なし

(3) (1) - (2)

(4) (3) ÷ (1)

(5) 問 4 文中「当期と同額の営業利益」より

(6) 問 1~問 3 と変化なし

(7) (5) + (6)

(8) (7) ÷ (4)

→ (8) ÷ (1) = 13,500 個…問 4

問 5

	売	@3,200	×	13,000	コ =	
	変	@2,200	×	13,000	コ =	
0.3125	貢利	@1,000	×	13,000	コ =	13,000,000 円 (1)
	固					8,500,000 円 (3)
	営利					4,500,000 円 (2)

(1) 問 5 文中「販売数量は 13,000 個」より、@1,000 円 × 13,000 個

(2) 問 5 文中「当期と同額の営業利益」より

(3) (1) - (2)

→ もともとの固定費 9,000,000 円 - (3) = 500,000 円…問 5

2 @4点×5=20点

- (1) 当月の直接材料費総額 =

3,750,000

 円
- (2) 当月の製造間接費総額 =

9,300,000

 円
- (3) 当月の貢献利益 =

22,140,000

 円
- (4) 当月の損益分岐点売上高 =

33,300,000

 円
- (5) 当月の必要売上高 =

39,960,000

 円

(1) 主要材料費 2,700,000 円 + 買入部品費 1,050,000 円

(2) 補助材料費 600,000 円 + 間接工賃金 (1,875,000 円 + 1,440,000 円) + 従業員賞与手当 120,000 円 + 減価償却費 4,425,000 円 + その他の間接経費 (285,000 円 + 555,000 円)

※ すべての原価を①製造原価、②販売費、③一般管理費に区分できるようにしましょう

(3)

売	36,900,000 円①
変	14,760,000 円②
貢利	? 円

① 問題文より

② 変動費すべての合計より

→ ① - ② = 22,140,000 円… (3)

(4)

	売	? 円
	変	_____
0.6①	貢利	_____
	固	19,980,000 円③
	営利	0 円②

① (3) のワークシートより、22,140,000 円 ÷ 36,900,000 円

② 損益分岐点 (営業利益 0 円) なので、0 円

③ 固定費すべての合計より

→ (営業利益 0 円 + 固定費 19,980,000 円) ÷ 貢献利益率: 0.6 = 33,300,000 円… (4)

(5)

	売	? 円
	変	_____
(0.5①)	貢利	_____
	固	19,980,000 円
	営利	? 円

① (4) のワークシートより、0.6 - 0.1

→ (固定費 19,980,000 円) ÷ ① = 39,960,000 円… (5)

必ず, ワークシートにあてはめて検算すること

	売	39,960,000 円
	変	
0.6①	貢利	<u>23,976,000 円②</u>
	固	<u>19,980,000 円</u>
	営利	<u>3,996,000 円③</u>

① 貢献利益率は 0.6 のまま

② 39,960,000 円 × ①

③ ② - 19,980,000 円

→ ③ ÷ 39,960,000 円 = 0.1 (10%)

3 @2点×10=20点

①	キ	②	コ	③	オ	④	エ	⑤	40
⑥	17,500	⑦	17,500	⑧	20	⑨	50	⑩	20

①～④ 模範解答どおり

⑤～⑦

	売	@10.0万円 (1)	×	台 =	175,000万円 (7)
	変	@ 6.0万円 (2)	×	台 =	
0.4⑤	貢利	@ 4.0万円 (3)	×	台 =	70,000万円 (6)
	固				70,000万円 (5)
	営利				0万円 (4)

(1) 資料より

(2) 変動売上原価 (原料費 4.5万円+加工費 0.9万円) + 変動販売費 0.6万円

(3) (1) - (2)

→ @4.0万円÷@10万円=40%…⑤

(4) 損益分岐点 (営業利益 0円)

(5) 資料より

(6) (4) + (5)

(7) (6) ÷ 0.4

→ (7) ÷ @10.0万円 = 17,500台…⑥

→ 来月の予定販売台数 35,000台 - 損益分岐点の販売台数 17,500台 = 17,500台…⑦

⑧ 資料より, 70,000万円 ÷ 350,000万円 = 20%

⑨・⑩

	売	@10.0万円	×	台 =	?万円⑨
	変	@ 6.0万円	×	台 =	
(0.14) (1)	貢利	@ 4.0万円	×	台 =	
	固				70,000万円
	営利				?万円

(1) ⑤で求めた貢献利益率 0.4 - 目標売上高営業利益率 0.26

→ 7億円 (70,000万円) ÷ (1) = 50億円…⑨

→ ⑨50億円 × 貢献利益率 0.4 = 20億円…⑩

必ず, ワークシートにあてはめて検算すること

	売	500,000万円
	変	
0.4	貢利	200,000万円
	固	70,000万円
	営利	130,000万円

4 @4点×5=20点

問1 最小の売上高

11,200,000

 円

問2 単位当たり変動費

120

 円/単位

月間固定費

5,740,000

 円

問3 月間損益分岐点売上高

14,350,000

 円

問4 月間目標売上高

15,850,000

 円

問1 「正常操業圏」なので、1月は含まれません。よって、2月の56,000単位×@200円

問2 $(16,060,000 \text{円} - 12,460,000 \text{円}) \div (86,000 \text{単位} - 56,000 \text{単位}) = \text{変動費率@120円}$

総原価 12,460,000円 - 変動費 (@120円×56,000単位)

または、総原価 16,060,000円 - 変動費 (@120円×86,000単位)

※ 可能なら2つのデータを用いて検算しましょう

問3

	売	円
	変	円
0.4 (1)	貢利	円
	固	5,740,000円
	営利	0円

(1) $(@200 \text{円} - @120 \text{円}) \div @200 \text{円}$

→ $5,740,000 \text{万円} \div (1) = 14,350,000 \text{円} \cdots \text{問3}$

問4 まず、目標営業利益を求めます。

→ 総資本 60,000,000円 × 月間目標総資本営業利益率 1% = 600,000円

	売	円
	変	円
0.4	貢利	6,340,000円
	固	5,740,000円
	営利	600,000円

→ $6,340,000 \text{円} \div 0.4 = 15,850,000 \text{円} \cdots \text{問4}$

5 @4点×5=20点

問1	<input type="text" value="40"/>	%
問2	<input type="text" value="6,000,000"/>	円
問3	<input type="text" value="8,100,000"/>	円
問4	<input type="text" value="900,000"/>	円
問5	<input type="text" value="2.5"/>	%

問1 (1,610,000円+840,000円+350,000円) ÷ 7,000,000円

問2

	売	円
0.4	変	円
0.6 (1)	貢利	3,600,000円 (4)
	固	3,600,000円 (3)
	営利	0円 (2)

(1) $1 - 0.4$ または、 $4,200,000円 \div 7,000,000円$

(2) 損益分岐点 (目標営業利益 0円)

(3) 固定費すべての合計

(4) (2) + (3)

→ (4) ÷ 0.6

問3

	売	円
0.4	変	円
0.6	貢利	4,860,000円 (2)
	固	3,600,000円
	営利	1,260,000円 (1)

(1) 目標営業利益 1,260,000円

(2) (1) + 3,600,000円

→ (2) ÷ 0.6

問4 7,500,000円 × 0.6 - 3,600,000円

問5 正常操業圏の記載がないので、最低と最高のデータを抽出します。

→ (1,054,000円 - 1,016,500円) ÷ (8,190,000円 - 6,690,000円)

6 @4点×5=20点

①	10,000,000	②	400
③	10,500,000	④	525
⑤	1,945,000		

①

売	@40,000円 (1)	×	個 =	
変	@20,000円 (2)	×	個 =	
貢利	@20,000円 (3)	×	500個 =	
固				
営利				

(1) 資料より

(2) 変動製造原価@18,000円 + 変動販売費@2,000円

(3) (1) - (2)

→ @20,000円 × 500台

②

	売	@40,000円	×	個 =	16,000,000円 (5)
	変	@20,000円	×	個 =	
0.5 (1)	貢利	@20,000円	×	個 =	8,000,000円 (4)
	固				8,000,000円 (3)
	営利				0円 (2)

(1) @20,000円 ÷ @40,000円

(2) 損益分岐点 (営業利益 0円)

(3) 固定製造原価 7,500,000円 + 固定販売費・一般管理費 500,000円

(4) (2) + (3)

(5) (4) ÷ (1)

→ (5) ÷ @40,000円

③・④

	売	@40,000円	×	個 =	21,000,000円 (5)
	変	@20,000円	×	個 =	
0.5 (1)	貢利	@20,000円	×	個 =	10,500,000円 (4)
	固				8,000,000円 (3)
	営利				2,500,000円 (2)

(1) @20,000円 ÷ @40,000円

(2) 目標営業利益 2,500,000円

(3) 固定製造原価 7,500,000 円 + 固定販売費・一般管理費 500,000 円

(4) (2) + (3)

(5) (4) ÷ (1)

→ (5) ÷ @40,000 円 = 525 個…④

→ (5) × 0.5 = 10,500,000 円…③

⑤ 変動販売費 500 円追加されたので、ワークシートを作成し直す

売	@40,000 円	×	個 =	
変	@20,500 円 (1)	×	個 =	
貢利	@19,500 円 (2)	×	510 (3) 個 =	9,945,000 円 (4)
固				8,000,000 円
営利				1,945,000 円 ⑤

(1) @18,000 円 + @2,000 円 + 追加@500 円

(2) @40,000 円 - @20,500 円

(3) 問 3 文中より

(4) (2) × (3)

→ (4) - 8,000,000 円

7 @4点×5=20点

問1

直接原価計算による損益計算書

(単位：円)

売上高	(16,000,000①)
変動売上原価	(5,600,000②)
変動製造マージン	(10,400,000③)
変動販売費	(400,000④)
貢献利益	(10,000,000⑤)
製造固定費	(2,400,000⑥)
固定販売費及び一般管理費	(4,400,000⑦)
営業利益	(3,200,000⑧)

問2

当期の損益分岐点の売上高 = 円

問3

次期に営業益を2倍にする売上高 = 円

① 損益計算書より

② 変動費 140 円 (直接材料費 80 円 + 直接労務費 20 円 + 製造間接費 40 円) × 40,000 個

③ ① - ②

④ 変動販売費 10 円 × 40,000 個

⑤ ③ - ④

⑥ 売上原価 8,000,000 円 (総原価) - ②

※ 総原価を変動費 5,600,000 円と固定費 2,400,000 円に分解しているイメージ

⑦ 販売費及び一般管理費 4,800,000 円 - ④

※ 総原価を変動費 400,000 円と固定費 4,400,000 円に分解しているイメージ

⑧ ⑥ - ⑦

または、期首と期末に仕掛品および製品の在庫がないので、全部原価計算でも直接原価計算でも営業利益は同じになるので、損益計算書より

⑨

	売	円
	変	円
0.625 (1)	貢利	<u>6,800,000 円 (4)</u>
	固	<u>6,800,000 円 (3)</u>
	営利	<u><u>0 円 (2)</u></u>

(1) ⑤ ÷ ①

(2) 損益分岐点 (目標営業利益 0 円)

(3) ⑥ + ⑦

(4) (2) + (3)

→ (4) ÷ (1)

⑩

	売	円
	変	円
0.625 (1)	貢利	<u>13,200,000 円 (4)</u>
	固	<u>6,800,000 円 (3)</u>
	営利	<u><u>6,400,000 円 (2)</u></u>

(1) ⑤ ÷ ①

(2) 目標営業利益 6,400,000 円 (3,200,000 円 × 2)

(3) ⑥ + ⑦

(4) (2) + (3)

→ (4) ÷ (1)

8 @4点×5=20点

問1

	直接原価計算による損益計算書	(単位：円)
売上高		(1,680,000①)
変動売上原価		(966,000②)
変動製造マージン		(714,000③)
変動販売費		(126,000④)
貢献利益		(588,000⑤)
製造固定費		(252,000⑥)
固定販売費及び一般管理費		(178,500⑦)
営業利益		(157,500⑧)

問2 当期の損益分岐点の売上高 = 円

問3 営業利益210,000円を達成するための販売数量 = 個

① 損益計算書より

② 売上原価1,218,000円－製造原価に含まれる固定費252,000円

※ 売上原価を変動費966,000円と固定費252,000円に分解しているイメージ

③ ①－②

④ 販売費及び一般管理費304,500円－販売費に含まれる固定費36,000円－一般管理費142,500円

※ 販売費及び一般管理費を変動費126,000円と固定費178,500円に分解しているイメージ

⑤ ③－④

⑥ 製造原価に含まれる固定費252,000円

⑦ 販売費に含まれる固定費36,000円＋一般管理費142,500円

⑧ ⑤－⑥－⑦

または、期首と期末に仕掛品および製品の在庫がないので、全部原価計算でも直接原価計算でも営業利益は同じになるので、損益計算書より

⑨

	売	円
	変	円
0.35 (1)	貢利	430,500 円 (4)
	固	430,500 円 (3)
	営利	0 円 (2)

(1) ⑤ ÷ ①

(2) 損益分岐点 (目標営業利益 0 円)

(3) ⑥ + ⑦

(4) (2) + (3)

→ (4) ÷ (1)

⑩

	売	1,830,000 円 (5)
	変	円
0.35 (1)	貢利	640,500 円 (4)
	固	430,500 円 (3)
	営利	210,000 円 (2)

(1) ⑤ ÷ ①

(2) 目標営業利益 210,000 円

(3) ⑥ + ⑦

(4) (2) + (3)

(5) (4) ÷ (1)

→ (5) ÷ @600 円 (販売単価)

9 @4点×5=20点

<u>直接原価計算による損益計算書</u>		(単位：円)
	<u>前々期</u>	<u>前期</u>
売上高	(3,200,000①)	(3,200,000⑥)
変動費	(1,540,000②)	(1,530,000⑦)
貢献利益	(1,660,000③)	(1,670,000⑧)
固定費	(1,280,000④)	(1,280,000⑨)
営業利益	(380,000⑤)	(390,000⑩)

ポイント 全部原価計算と直接原価計算の違い

生産量と販売量を意識する

→ 固定製造間接費（固定加工費）を1個当たりまで分解する必要がある

月初と月末に在庫（仕掛品と製品）がないか確認する

→ 在庫があったときは、営業利益に違いが出る

前々期は生産量と販売量が同じで、期首・期末とも在庫はないが、前期は、期首・期末の仕掛品はないが、期末に製品の在庫200個あるので注意する

① [資料] (5) 損益計算書より

② [資料] (1) と (2) を用いて、[資料] (1) の?を復元する。

固定加工費720,000円は各期の実際生産量にもとづいて配賦されるので、

$720,000 \text{円} \div 1,000 \text{個 (生産量)} = @720 \text{円}$

よって、直接材料費は@1,160円となる

→ $(@1,160 \text{円} + @160 \text{円} + @220 \text{円}) \times 1,000 \text{個 (販売量)}$

③ ①-②

④ 販売費及び一般管理費780,000円を変動費と固定費に分解します。

$780,000 \text{円} - (@220 \text{円} \times 1,000 \text{個 (販売量)}) = 560,000 \text{円}$

→ $720,000 \text{円} + 560,000 \text{円}$

⑤ ③-④

または、期首と期末に仕掛品および製品の在庫がないので、全部原価計算でも直接原価計算でも営業利益は同じになるので、損益計算書より

⑥ [資料] (5) 損益計算書より

⑦ [資料] (1) と (2) を用いて、[資料] (1) の?を復元する。

固定加工費720,000円は各期の実際生産量にもとづいて配賦されるので、

$720,000 \text{円} \div 1,200 \text{個 (生産量)} = @600 \text{円}$

よって、変動加工費は@170円となる

→ $(@1,140円 + @170円 + @220円) \times 1,000個$ (販売量)

※ 大量生産に成功したので、前々期 2,040円だったのが、前期は 1,910円になっている。

⑧ ⑥-⑦

⑨ 販売費及び一般管理費 780,000円を変動費と固定費に分解します。

$780,000円 - (@220円 \times 1,000個$ (販売量)) = 560,000円

→ 720,000円 + 560,000円

⑩ ⑧-⑨

または、全部原価計算の営業利益 510,000円 - 期末製品 200個 \times 固定加工費@600円 + 期首製品 0円

※ 固定費調整の公式

直接原価計算の営業利益 + 期首在庫の固定加工（製造間接）費 - 期末在庫の固定加工（製造間接）費

ポイント 直接原価計算と全部原価計算の違い

- ① 固定費はカタマリのまま計算する直接原価計算から解答する
- ② 期首・期末に在庫（製品や仕掛品）ないか確認する
 - ない場合、直接原価計算でも全部原価計算でも営業利益は同じ
- ③ 全部原価計算では、固定加工費や固定製造間接費を1個あたりの単価に分解して計算する
 - 分解する際は、販売量ではなく生産量!!!
 - 生産量と販売量の違いを意識しましょう
- ④ 販売費及び一般管理費は集計しやすい
- ⑤ 原価計算の違いなので、売上高には影響ない

10

問1 @2点×5=10点

	第1期	第2期	第3期	第4期
全部原価計算の営業利益	15,000,000②	18,000,000③	16,500,000④	10,500,000⑤
直接原価計算の営業利益	15,000,000①	15,000,000①	15,000,000①	15,000,000①

問2 完解で2点

第2期期末における貸借対照表の製品有高は、(全部原価計算、直接原価計算) の場合の方が、

3,000,000 円だけ多い。

問3 @2点×4=8点

(直接原価計算、全部原価計算) では、製造原価に含まれる固定費は在庫に配賦されず、すべて当期の費用として処理されるが、(直接原価計算、全部原価計算) の場合、製造原価に含まれる固定費が製品や仕掛品の在庫に配賦され次期に繰り越されることで、問2のように貸借対照表の製品有高や問1の第2期から第4期の営業利益に影響を与える。たとえば、問1の第3期において、直接原価計算の営業利益に、第2期から繰り越された製品の在庫に配賦された製造原価に含まれる固定費を(加算 減算) し、第4期に繰り越す製品の在庫に配賦された製造原価に含まれる固定費を(加算、減算) する調整を行うことで、全部原価計算の営業利益を求めることができる。

問1

① 第1期から第4期まで、すべて販売量は1,000

売	@45,000円(1)	×	1,000個=	
変	@15,000円(2)	×	1,000個=	
貢利	@30,000円(3)	×	1,000個=	30,000,000円(4)
固				15,000,000円(5)
営利				15,000,000円①

(1) [資料]①より

(2) [資料]②より、@7,500円+@7,500円

(3) (1) - (2)

(4) (3) ×1,000個

(5) [資料]③より、9,000,000円+6,000,000円

→ (4) - (5)

※ 固定製造原価9,000,000円をカタマリのまま考える

② 全部原価計算では、固定製造原価9,000,000円を1個あたりの単価に分解!!!

9,000,000円÷1,000個(生産量) = @9,000円

第 1 期

売 上 高	45,000,000 (1)
売 上 原 価	24,000,000 (2)
売 上 総 利 益	21,000,000 (3)
販売費及び一般管理費	6,000,000 (4)
営 業 利 益	15,000,000 ②

(1) @45,000 円×1,000 個 (販売量)

(2) (@7,500 円+@7,500 円+@9,000 円) ×1,000 個 (販売量)

(3) (1) - (2)

(4) [資料]③より (今回の問題では、販売費及び一般管理費に変動費がなかった)

→ (3) - (4)

または、期首と期末に仕掛品および製品の在庫がないので、全部原価計算でも直接原価計算でも営業利益は同じになるので、問1①より

③ 全部原価計算では、固定製造原価 9,000,000 円を 1 個あたりの単価に分解!!!

9,000,000 円÷1,500 個 (生産量) =@6,000 円

第 2 期

売 上 高	45,000,000 (1)
売 上 原 価	21,000,000 (2)
売 上 総 利 益	24,000,000 (3)
販売費及び一般管理費	6,000,000 (4)
営 業 利 益	18,000,000 ③

(1) @45,000 円×1,000 個 (販売量)

(2) (@7,500 円+@7,500 円+@6,000 円) ×1,000 個 (販売量)

(3) (1) - (2)

(4) [資料]③より (今回の問題では、販売費及び一般管理費に変動費がなかった)

→ (3) - (4)

または、直接原価計算の営業利益 15,000,000 円-期首製品 0 円+期末製品 3,000,000 円 (500 個×@6,000 円)

- ④ 全部原価計算では、固定製造原価 9,000,000 円を 1 個あたりの単価に分解!!!
 $9,000,000 \text{ 円} \div 1,000 \text{ 個 (生産量)} = @9,000 \text{ 円}$

<u>第 3 期</u>	
売 上 高	45,000,000 (1)
売 上 原 価	22,500,000 (2)
売 上 総 利 益	22,500,000 (3)
販売費及び一般管理費	6,000,000 (4)
営 業 利 益	16,500,000 ④

- (1) @45,000 円 × 1,000 個 (販売量)
 (2) (@7,500 円 + @7,500 円 + @6,000 円) × 500 個 (販売量) + (@7,500 円 + @7,500 円 + @9,000 円) × 500 個 (販売量)
 (3) (1) - (2)
 (4) [資料]③より (今回の問題では、販売費及び一般管理費に変動費がなかった)
 → (3) - (4)

または、直接原価計算の営業利益 15,000,000 円 - 期首製品 3,000,000 円 (500 個 × @6,000 円) + 期末製品 4,500,000 円 (500 個 × @9,000 円)

- ⑤ 全部原価計算では、固定製造原価 9,000,000 円を 1 個あたりの単価に分解!!!
 $9,000,000 \text{ 円} \div 500 \text{ 個 (生産量)} = @18,000 \text{ 円}$

<u>第 4 期</u>	
売 上 高	45,000,000 (1)
売 上 原 価	28,500,000 (2)
売 上 総 利 益	16,500,000 (3)
販売費及び一般管理費	6,000,000 (4)
営 業 利 益	10,500,000 ⑤

- (1) @45,000 円 × 1,000 個 (販売量)
 (2) (@7,500 円 + @7,500 円 + @9,000 円) × 500 個 (販売量) + (@7,500 円 + @7,500 円 + @18,000 円) × 500 個 (販売量)
 (3) (1) - (2)
 (4) [資料]③より (今回の問題では、販売費及び一般管理費に変動費がなかった)
 → (3) - (4)

または、直接原価計算の営業利益 15,000,000 円 - 期首製品 4,500,000 円 (500 個 × @9,000 円) + 期末製品 0 円

問2

問1の第2期における、全部原価計算と直接原価計算の営業利益の差となります。直接原価計算では、固定製造原価9,000,000円を期間費用として集計しますが、(カタマリで考える)全部原価計算では、1個あたりの単価を求めて、1,500個製造するのに発生した9,000,000円のうち、売れ残った500個分の3,000,000円(500個×@6,000円)を製品(資産)として繰り越すためです。当期に発生した費用ですが、売上原価という費用にならず、製品という資産として処理されます。

問3

模範解答とこれまでの内容(直接原価計算と全部原価計算の違い)をふまえて確認してください。

11 @2点×10=20点

仕 掛 品			
期首有高	877,500	当期完成高	(9,247,500⑥)
直接材料費	(5,917,500①)	期末有高	(960,000⑤)
直接労務費	(2,437,500②)		
変動製造間接費	(975,000③)		
	(10,207,500④)		(10,207,500④)

直接原価計算による損益計算書		(単位：円)
I 売上高		15,105,000
II 変動売上原価		
1. 期首製品棚卸高	1,065,000	
2. 当期製品変動製造原価	(9,247,500⑥)	
合 計	(10,312,500⑦)	
3. 期末製品棚卸高	(937,500⑧)	
差 引	(9,375,000⑨)	
4. 原価差異	(60,000⑩)	(9,435,000⑪)
変動製造マージン		(5,670,000⑫)
III 変動販売費		(982,500⑬)
貢 献 利 益		(4,687,500⑭)
IV 固定費		
1. 製造間接費	(2,061,000⑮)	
2. 固定販売費・一般管理費	(1,321,500⑯)	(3,382,500⑰)
営 業 利 益		(1,305,000⑱)

直接原価計算なので、原価を変動費と固定費に分けましょう。また、製造間接費か販売費及び一般管理費にも区分しましょう。

- ① 予定がないので、実際に計算。[資料]1と3より、720,000円+5,820,000円-622,500円
- ② 予定がないので、実際に計算。[資料]2と4より、2,460,000円-330,000円+307,500円
- ③ 予定がある。②×40%（実際は差異の計算をするまで求める必要がありません）
- ④ 877,500円+①+②+③
- ⑤ [資料]1より
- ⑥ ④-⑤
- ⑦ 1,065,000円+⑥
- ⑧ [資料]1より
- ⑨ ⑦-⑧

⑩ 実際の変動製造間接費を求めます。

間接工賃金: 754,500 円 (765,000 円 - 82,500 円 + 72,000 円) + 電力料: 280,500 円 = 1,035,000 円

予定: 975,000 円 - 実際: 1,035,000 円 = △60,000 円 (不利) … 実際の方が大

⑪ ⑨ + ⑩ (不利差異は売上原価にプラス)

⑫ 15,105,000 円 - ⑪

⑬ [資料]6 より

⑭ ⑫ - ⑬

⑮ 工場従業員給料: 1,072,500 円 (1,080,000 円 - 127,500 円 + 120,000 円) + 保険料: 315,000 円 + 減価償

却費: 396,000 円 + その他: 277,500 円

⑯ [資料]6 より, 609,000 円 + 712,500 円

⑰ ⑮ + ⑯

⑱ ⑭ - ⑰

12 問1は@2点×4, 問2~問4は@4点×3

問1

<u>損益計算書</u>		(単位：円)
売上高	(14,400,000①)
変動費		
月初製品有高	(0②)
当月製品変動製造原価	(3,500,000③)
計	(3,500,000④)
月末製品有高	(140,000⑤)
変動売上原価	(3,360,000⑥)
変動販売費	(960,000⑦)
貢献利益	(10,080,000⑧)
固定費	(6,048,000⑨)
営業利益	(4,032,000⑩)

問2	8,640,000⑪ 円
問3	28⑫ %
問4	40⑬ %

- ① @3,000 円×4,800 台 (販売量)
- ② 月初在庫量が 0 台より
- ③ 5,000 台を生産するのに発生した, 1,530,000 円+520,000 円+1,450,000 円
- ④ ②+③
- ⑤ 生産した 5,000 台のうち, 200 台が売れ残っています
 ③÷5,000 台=@700 円
 → @700 円×200 台
- ⑥ ④-⑤
- ⑦ 資料より
- ⑧ ⑥-⑦
- ⑨ 2,500,000 円+3,548,000 円
- ⑩ ⑧-⑨

⑪

	売	⑪	円
	変		円
0.7 (1)	貢利	6,048,000 円 (4)	
	固	6,048,000 円 (3)	
	営利	0 円 (2)	

(1) ⑧ ÷ ①

(2) 損益分岐点 (目標営業利益 0 円)

(3) ⑨

(4) (2) + (3)

→ (4) ÷ (1)

⑫ ⑩ ÷ ①

⑬ ⑩ ÷ ⑧

または, (① - ⑪) ÷ ①